

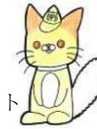
大野市教育理念

明倫の心を重んじ 育てよう おおのびと 大野人



令和5年度 大野市尚徳中学校 スクールプラン

生徒会マスコット しよっぴー



建学の志「徳の道」

学問に親しみ果敢に行動せよ→チャレンジ
喜び合う人との交わりを重んじ→コミュニケーション
もって己の人格を陶冶せよ→チェンジ

学校教育目標

幸福な社会の建設に貢献する生徒の育成

目指す生徒像「夢や目標に向かって努力する生徒」

学：プラス思考で主体的に学ぶ生徒
礼：規律ある行動を積み重ねる生徒
結：ありがとうと思いやりで協力する生徒

研究主題【主体的・対話的で深い学びを実現する生徒の育成】

～ファシリテーションの視点を生かした授業づくりを通して～

目指す教職員像【愛情あふれ、信頼される教職員】

温かさの中にも厳しさのある指導・支援をする教職員
ファシリテーターとして生徒の成長を促し、支援する教職員
共に考え、協力・協働・学び合う教職員
時間を大切にして、校務改善に取り組む教職員

【「主体性」と「対話」を引き出す作戦】

- ①生徒の意欲を引き出すような課題の設定や提示の仕方の工夫
- ②生徒に任せる場面、教師が出る出番を見極める場面などの場の工夫
- ③支援できるように声掛けやサポートなどファシリテーションスキルの向上
- ④次の意欲につながるような振り返りや評価の工夫

【「考える力」をつける作戦】

- ①常に課題目標を意識する。課題に対する自分の考えを発表する。
- ②習ったことを自分の言葉で言い換えたり、まとめたりする。友達に説明する。
- ③自分の学習方法を振り返り、改善する。

教職員の願い【笑顔あふれる学校】

みんなが安全・安心に活動できる学校
みんなが学力の向上を実感できる学校
みんなが「ありがとう」でつながる学校
みんなが夢を語り合える学校

【生徒の実態】 R3A+B[A] → R4A+B[A]

- ①学校は楽しい 96[62] → 93[80]
- ②みんなで何かをするのは楽しい 97[75] → 97[80]
- ③授業に主体的に取り組んでいる 94[59] → 97[54]
- ④授業がよく分かる 94[46] → 93[39]
- ⑤夢や目標がある 92[73] → 100[100]

今年度の重点目標

安心・安全の確保

○心の安心の確保と支援の充実
・安全教育の推進

学力の向上

○主体的・対話的で深い学びの充実
・知識・技能の習得
・思考力・判断力・表現力の向上

社会性の育成

○生命・人権・規律の尊重
・ピア・サポート活動の推進
・キャリア教育の充実

家庭・地域・学校との連携

○幼小中高連携の強化
・デジタルリテラシー教育の啓発
・地域行事への参加

今年度の具体的な取り組み

○不安を感じる生徒を支援し、不登校・いじめの未然防止に取り組む。
○いじめアンケート、教育相談でいじめを早期に発見し、チームで早期解決する。
・自分の命を自分で守る実践力を育成する。
・実効性の高い各種避難訓練を実施する。
・交通ルールの順守を徹底する。

○「主体性」と「対話」を引き出す作戦と「考える力」をつける作戦に取り組む。
・授業アドバイザーを招き授業改善を進める。
・英語科で習熟度に応じた学習を実施する。
○ICT機器等を効果的に活用する。
・セルフアドバンスノートの実践を推進する。
・読書タイム、新聞タイム等で読書や活字への関心を高める。

○「笑顔・一生懸命・ありがとう」があふれる集団づくりを進める。
・ピア・サポート活動を取り入れた絆づくりを行う。
・係、委員会の自治活動を充実させる。
・全員が関わり、感動する生徒会行事を行う。
・SDGsの取り組みを推進する。

○校区内の交流を深め、「すこやか尚徳っ子」
「尚徳スタイル」の共通実践を進める。
・学校再編に向けて連携を推進する。
・Society5.0の担い手として、情報や機器を正しく活用するスキルを身につける。
・地域活動等を通して地域理解と魅力発信を行う。

重点目標に対する数値目標 年度末学校評価アンケートで確認 (A+Bの割合)

・不登校、いじめの解消 100%
・交通ルールを守って登下校している 100%

・授業やいろいろな活動の中で、自分の考えを述べる事ができた 80%
・タブレット端末を授業で活用できた 100%

・自分の本気を出せたときがある 90%
・生徒会活動や行事に楽しく参加した 100%

・尚徳スタイルを守っている 生徒 100% 保護者 90%
・地域に役立つ活動ができた 90%

【業務改善のための取り組み】

- ・リフレッシュデーとLED(Leaving Early Day)を設定し、一人一人が計画的に退勤する。
- ・「アクティブ回覧会議」を推進し、会議時間の短縮を図る。
- ・放課後活動(部活動)の指導態勢や校時を工夫し、放課後業務時間を確保する。